京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●輸出重要品

最近仁川港より輸出せし重要品の商況左の如し

▲米 昨今入荷捗々しからざるに加へて各產地に於ける植付季に際し更に降雨なく農家をして貧惜みの感を抱かしめ市場も愈々入荷薄を告げ連れて同地精米所も愈々空隙を生じ原料不足を唱ふる有様に至りしかば勢ひ相場も昂進し前報後三四十錢方引締りを呈せり月末に際し兩三日間小雨あり多少の潤ひありしも一二の韓商旱魃豫想思惑買等有て氣配小堅く目先尙幾分强含の模樣也

▲大豆 昨今非常に出廻り減少し品薄の折柄本邦相場不振なるに不拘同地は氣配底堅く加へて九州博多方面より釀造口注文及思惑筋の望手弗々現れ氣配小堅く保合ひなり

▲牛皮 本月上旬は銀塊相場の關係よりして支那皮の坂地に顯はるゝもの多く一時荷閊へを生じ相場非常に安く隨て仁川皮も亦其影響を受けて一時下向きしが漸次夏皮の時代となり坂地の輸入も薄らぎたれば相場ヂリ／＼上向きとなりたるも同地は農繁の時期となり出廻はり薄にて坂地の好報と共に直段一時に騰貴したるも其後出品少數のため格別の變動もなく依然保合と云ふも可なりの商狀を呈したり

▲牛臓及牛骨 牛臓は出廻はり僅少にして前月に比し相場幾分昇騰し前月中は百斤に付十一圓五十錢より十二圓の間を往來したりしに本月は十二圓より十三圓五十錢の間を往來したり夏季に入らば漁撈相替らず弗々ありて生魚の鱗に上るもの多く生牛の屠殺減少し爲めに例年品薄となり相場の漸進を見るを常とすと云ふ

牛骨も亦出廻は弗々にて前月同様別段變はりなく相場も保合ひなり

▲狸皮、狐皮 本品は頓んと出廻はりなく取引相場立たず

●故恒屋盛服氏略歴

朝鮮の事情に精通せる故恒屋盛服氏は豫て心臓病を患ひ居りしが病俄かに革まり終に去る十九日午後九時溘焉として其自邸に逝去せり氏は奥州棚倉の人年少にして奇氣に富み豪宕不覊所謂志士の傑を備へり明治二十二年殖民の氣風を鼓吹せんが爲め同志と共に移住組合を創設するや直ちに墨西哥に赴き歸朝後殖民協會を設立し鋭意殖民事業の爲め貢獻する所ありたり二十七年朝鮮に渡り大に劃策する所あると共に專心朝鮮に關する事情を研究し同時に韓國の爲め盡瘁する所ありたり享年五十五惜むべしとなす

○ハガキ文集

●近況● 青楓

僕のつい近所に氷屋が出來たよ、女主人で、それは／＼頗るのピー的だ、東京くんだりの、ソレ者らしい、三十二三の姥櫻。女一人に婿八人の格で、實に我こそは見んごと射落して、先途の功名せばやと焦る鼻下長連が、中々多い、だが、ピー的先生雌と見せかけて、容易に折ない手腕の達者さ、全く驚くよ。

實は僕もその手玉に取つて投げつけられた一人だよ。



第八席 桃川燕玉 演

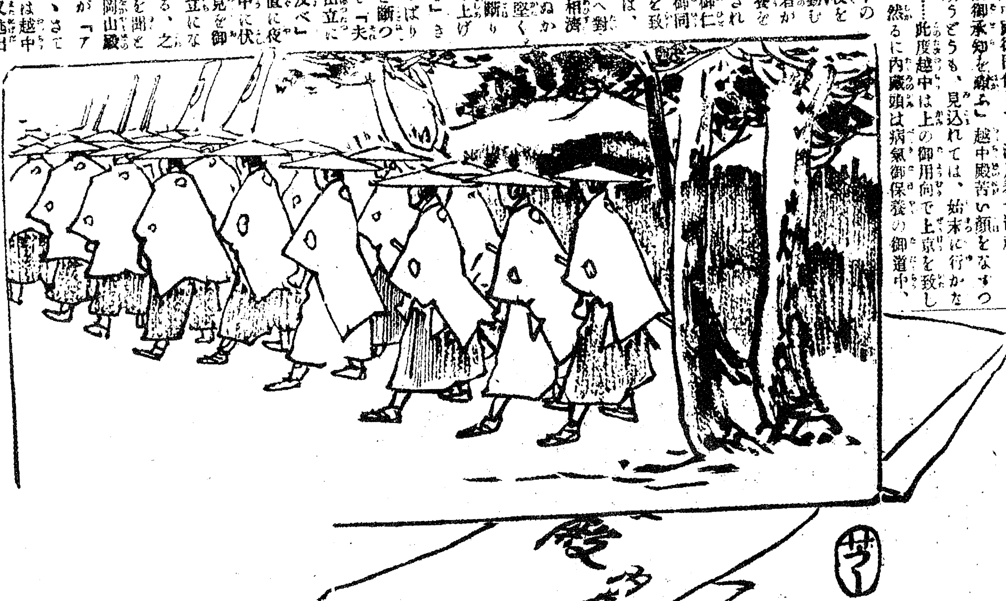
越中殿が其邊を種々御巡檢になつて居りまするで、茲に備前岡山の松平内藏頭殿、有馬に湯治をなすつて居らしつたが、大阪中の島の倉屋敷へ御歸りになつて、松岡主稅といふ人を使として越中殿の屋敷へ御遣しになつて「今般越中殿禁裏御造營御用掛として御上京、只今大阪へ御立寄になつて、是から江戸表へ御歸りと承はる、内藏頭公の執持ちに依つて御暇を賜り有馬の入浴、病氣全快を致し是より江戸表へ罷り歸る、幸ひ御同伴を致したい、此段御承知を願ふ」越中様が驚いた、松平内藏頭といふ方は金銀を湯水の如くに使ふ、何をなさるか知れたもんぢやない、そんな者と一緒にどうして行けるものではないと思召ずから「折角御申越ではござるが、越中儀は伊勢參宮を仕つる、且近國巡檢を致す儀でござる故、御同伴は相成り兼ねるから御斷り申す」と松岡主稅を還して直ぐ御家來方を御呼出しになり「内藏頭が何を言つて來るかも知れぬ面倒だに依つて直ぐ出立を致さう、左様心得い」唐突でございますから越中様の家來が驚くまい事か、やう／＼の事で支度を致しまして大阪を逃出した。と岡山様が之を御聞きになり「ナニ越中が出立した、ハヽア何か面倒を申込まれてはなるまいと御天に及んで逃げたな、船で行つたに違ひない此方も直ぐ出立をし越中の後を追驅けろ」是から大阪を御立ちになり、金銀湯水の如くに御使ひ捨てになるから、何でも物が自由、直ぐ船に御乘込みになつてどん／＼越中様の跡を追驅ける。尤も船中には幇間或ひは藝者數十人、他の船にも乘つて居ります、いやスッチャン／＼恐ろしい騒ぎ、船中の陽氣な事、彼方の堤を眞一文字に押上つて參ります、見る／＼間に越中様の船を追越してしまつた、越中殿驚いた 越「コレ 臣「ハヽツ 越「あれへ參る船中大分騒いで居るがあれは、何者が乘つて居る、浴衣な町人共でもあるか、船中に於て太鼓を鳴らし、三味線或は笛、大分陽氣に騒いで居るが、何者だあの船へ乘つて居るのは…… 臣「恐れながら申上げます、備前岡山の内藏頭殿でございます、君が御立になりました後續いて御立ちになりまして、此處へ御乘込みになりました 越「ナニ岡山が……いやな、困つた男だ、何しろ捉まつては成らぬ、早々伏見に船を着けろ」と越中様は遁々伏見へ御上りになつて、先づ宿屋にポンと御着きになる、途端に岡山様から池田左膳と云ふ者が御使で、大坂に於て御同伴仕つらんと存じ候處、伊勢參宮、近國御巡檢との儀にて急に御發足の由、依て内藏頭も大坂を出立仕つり、只今此へ到着致した、是非々々越中殿御同伴して、江戸表へ罷越したく此段御承知を願ふ」越中殿苦い顔をなすつて斯うどうも、見込れては、始末に行かない……此度越中は上の御用向で上京を致した、然るに内藏頭は病氣御保養の御道中、天下の御役を相勤むる者が保養をなされる御仁と御同伴を致すは、上へ對し相濟まぬから堅く御斷り申上げる」ときつぱりと斷つて「夫出立に及べ」直に夜中に伏見を御立になる、之を聞き岡山殿「アヽさては越中又逃出したナ、ソレ當家も出立をしろ」又た伏見を立てドン／＼後を追驅ける、越中様は先に御立になつたのでも無駄な金をちつとも御使ひなさらぬから道中がどうしても手間取れます、備前様はどし／＼金を使ふから道中の早いこと大變、越中様より遙く立つて先へ東海道神奈川の宿へ參りましてホンと御逗留なすつて、今に越中が來たら目に物見せて呉れやうと手ぐすね引いて待つてれ出なさる。此方は越中様が程ケ谷の宿まで來て様子を聞くと、神奈川に松平内藏頭殿が逗留をして居る「いや困つた男があつたものだ、迂濶にこいつ神奈川には行かれぬ、備前家が立つてしまつた後で此方も出立とする、逢ふと面倒だから」と云ふので御病氣と觸出して越中様は保土ケ谷へ留まつた。と備前様から御使「主人内藏頭の書面白河殿へ差上げる、御披見を願ひたい」早速越中様へ差上げる、御覽なされると

一筆啓達仕候先以て道中御障も無之其御宿迄御着之由大慶至極に奉存候先頃拙者大坂にて御同伴を願ひ候處貴所には上御用筋にて伊勢參宮を被爲旁々諸國御巡檢との事にて其儀も不相叶殘念に存じ打過ぎ候然るに拙者儀は豫て御承知の通り多病の爲道中緩々と歩行仕候に付昨日當所神奈川臺迄罷越し最早江戸へは一日路にて安堵仕候依而昨日より當所に於て保養旁々漁獵爲致一入面白く心得候貴殿にも少々御不快の由此儘御歸城相成候へば天下の執權職とて又々御用繁多にて御難澁可被成と存候間幸の折柄明日は當宿へ御越被下置聊御心の憂御慰め被下度此段御待申上候不宜

月　日　内藏頭

越中守殿

としてある。



京城新報

仁川人士に告ぐ

築港問題に付

仁川築港委員諸君は三伏の暑を冒し淋漓たる汗を絞りつゝ一昨二十六日を以て各當局者を訪問せられたり、然るに不幸にして曾禰統監は病床にあり、石塚長官事務取扱は多忙の故を以て面會を謝絶せられしと云ふ、此際に於ける委員諸君の感想や果して如何委員諸君が統監及長官事務取扱には面會する能はざりしと雖も、其他の各當局者を訪問したる結果仁川築港請願に對する當局者の意嚮の如何を確めらるゝ所ありし事と信ず余輩は諸君の熱心に對して其希望の貫徹を望むの餘り本問題に對する余輩の意見を公披するの念を禁ずる能はざる也。

語に曰く、成功は奮鬪の兒也と、余輩は總ての事に於て奮鬪は成功の基なることを信ずるもの也、而して余輩は仁川築港問題に就て諸君が過去に於ける奮鬪の程度を知ると同時に諸君が本問題に對する最後の決心如何を察するもの也、而も余輩は不幸にして諸君今日迄の奮鬪は未だ仁川有史以來曾てなき所の一千萬圓を要する大築港工事を產み出すに足らざるを感ずる也、諸君が過去に於ける奮鬪を顧れば時々當局者に對して叩頭以て哀願するの態度を取りて僅々たる保護若しくは些少の利益を與へらるゝに過ぎず、然り微々たる恩典若しくは保護と雖も當局者の好意に相違なきも、斯ることは築港の大問題には殆ど沒交渉にして之を大成する所以に非ず、仁川の生命たる築港問題を解決するには更に大奮鬪を開始せざる可らず、微々たる保護や利便を屢々受るが如きは大目的を貫徹するに於て却て不利益にして眞に之を要求せんとすれば些々たる小利益に着眼することなく、其運動の規模を須く大にせざる可らず、諸君は常に言ふ仁川は韓國首都の關門也と、余輩も亦若かく信ずるもの也、然れども政府當局者中には斯く信ぜざるもの尠からずと聞く、而して此等の人々が之を信ぜず仁川築港に重きを置かざる所以は畢竟彼等は常に山中に居りて韓國が半島にして環らすに海を以てすることを切實に感せざるが爲ならむ、聞く曾禰統監は產業政策を專らにするとの事にて韓國鐵道を南滿鐵道に合併し京元線の如きも來年中には布設に着手するの見込を立て居らるゝとの事也、果して然らば仁川は啻に首都の關門たるのみにあらずして實に日本海及露領沿海諸港と黃海とを聯絡し亦歐米諸港との接續港たるの運命を有す其曉に至らば仁川港は重要なる貿易港として自然に世界の認むる所とならむ、斯くも將來に於て有望なる半島西海岸唯一の大不凍港を占有する諸君は眞に天然の勝地を占むることを自覺せざる可らず、徒に本問題の解決を以て恰も自己世帶の回復にても計る如く、叩頭に繼くに叩頭を以てし當局者の憐憫に縋らんとするが如きは決して策の得たるものに非ず、余輩の見を以てすれば今日に於ける仁川稅關の年收六十万圓は此問題を實行する爲には任意に之を處分するの權利あることを信ずるもの也、前總稅務司ブラオン氏は曾て之を認識し、目賀田前顧問も亦強ち之に反對せざりき、果して然らば現當局者と雖も其見る所必ずや之に異なる所なからんか、六十萬圓の收入を有する仁川港にして起債せんと欲すれば外資を輸入すること容易ならむ、要は唯諸君が今日以後其運動の規模を大にして、關稅收入の處分を政府の恩惠とせずして仁川港灣及諸君の權利として政府に迫るを以て最も機宜に適せるものと信ず、諸君は果して之に首肯するや否耶。

路透電報

▲英佛海峽と飛行器

數回計畫して數回失敗に歸したるドバー海峽の飛行器橫過は佛人ブレリオ氏今回自製飛行器を用ゐて見事に成功したり(二十七日東京經由)

北京電報

▲日清懸案談判

目下日清間の懸案となれる諸問題に關し二十六日より北京に於て談判を開始することと成り

▲吉長問題と天津

吉長問題に關する我政府の回答催促に就き二十七日より天津にて決議することに變更したり(二十七日東京經由)

東京電報

▲經理監大交迭

陸軍經理監大交迭の結果駐劄軍經理部長遠藤主計監は休職と也經理學校長大野主計正及び角間一等主計正は主計監に昇進し右兩名の内一名韓國經理部長に任せらるゝ事に決定し八月一日發表さるべし

▲岩崎男の輕快

岩崎久彌氏は大學病院にて盲腸炎の手術を受けたるが其後の經過極めて良好なりと

▲朝日艦の奇禍

二十六日伊勢灣に於て檢定射擊中軍艦朝日にて十二斤砲の尾栓に故障ありし爲め水兵は其手當をなし居たる際突然火藥爆發して即死者五負傷者四名を出したり

▲小寺代議士視察

衆議院議員小寺健吉氏は來月早々滿韓視察の途に就く筈

▲韓太子と軍艦

韓太子の東北巡視につき六日青森發の時は軍艦生駒にて函館着十七日室蘭より青森に歸航の際は春日艦に乘艦さるゝ筈なり(以上二項廿六日夕發)

雜報

●韓銀條例發表

韓國銀行條令は愈々二十六日附法律第二十二號を以て二十七日發表せられたるが全文八章四十九號より成り右は過日の紙上に於て條例草案として揭載せしものと大差なし

●韓銀と兌換券

韓國銀行にては成べく早く兌換券を發行する計畫の由なるが第一銀行の權利義務承繼前に第一銀行の發行したる銀行券は之を韓國銀行の發行したるものと見做す由

●外國人布設費

最近の調査に依る在韓外國人布敎費は左の如しと

京城方面	六〇六,〇〇〇	全州方面	四〇,三三二
平壤方面	七〇,〇八四	元山方面	二,七〇六
大邱方面	六五,二〇〇	合計	八四三,三〇二

●大臣會議の休會

二十七日は統監官邸に於ける定例大臣會議の當日なるも都合に依り休會したりと

●新協約と打合會

法權委任に關する新協約締結に伴ひ二十七日より引續き統監府に於て打合會を開くべしと

●附加規程と準則

地方費附加規程は各道區々に分るを以て內部は準則を設けて之れを許可すべしと云ふ

●各觀察使の歸任

各觀察使會議に列席の爲め曩きに入京したる各觀察使は會議終了したるに依り夫れ〳〵歸任したりと

●赤十字事務囑托

日本赤十字社總裁閑院宮殿下は二十六日付を以て石塚長官に韓國赤十字社本部總長事務取扱囑托を命じたり

●創立委員の任命

韓國銀行の創立委員は日本政府にて任命する筈なるが其の員數は三十五名にして內十五名は韓人を任命する筈なりと

●在韓日本通貨在高

七月十五日現在在韓日本通貨在高見込額は銀行券準備百八十三萬七千圓、市場流通七十万九千圓、合計二百五十四萬六千圓なりと云ふ

●地方事業と官吏

地方費を以て支辨すべき事業の執務者は公吏として任用すべき筈の處今般官吏として之れを任命し俸給は地方費中より支出することゝなりたりと

●褓負商と暴徒討伐

軍隊側にては褓負商を暴徒討伐に使用する件に就ては何等預り知る所なく又必要をも認めざるを以て右等團体よりの斯樣の申込あるも無論拒絕すべしと

●國有地私賣調査

土地所有權の明確ならざるに乘じ各地方に於ては國有地の私賣盛んに行はれつゝある由なるか度支部は各監督局に命じ充分之を調査せしむる筈なりと

●各觀察使の訓示

韓皇には產業獎勵の意を以て曩きに親耕親刈を行はせられ又旱魃に當り減膳の詔を發せられたるに依り當局大臣は過般各觀察使に宛て聖慮周知の訓令を發したるが各觀察使は更に一般人民に訓示し之れが周知に力め居れりと

●東洋協會出身者採用

農商工部にては主事々務囑托として佐藤健次、池尾萬一、岩根嚴夫の三名を採用し內部にても郡主事として全羅南北道各一名、忠清北道一名咸鏡南北道に各一名を採用し昨日着京せり

●韓銀創立事務所

韓國銀行創立に關する一切の事務は日本政府に委托する事となれるを以て度支部にては日本政府と打合せの爲め野坂事務官を二十七日東上せしめたるが事務所は近日桂顧問官邸に設置さるべしと

●森林所有者の注意

森林山野所有者は森林法第十九條に依り同法施行の日より見取圖を添へ農商工部に屆けねばならぬ此際至急屆け出づべしとなり何此間不正の者あり屆書に添付すべき圖面は實測圖にあらざれば其筋に於て受付けざるべしと稱して多額の測量費を徵するものあるが同圖面は見取圖にて宜しき由なれば十分注意す可

●韓銀と政府の補助

韓國銀行創立營業費として韓政府より出資する百二十萬圓は五個年間据置後十ヶ年間無利子にて貸下るべき筈なるが這は第一銀行の家屋買ひ入れの爲めなりと云ふ

●國有地と小作料

國有地の小作料たる現品は五十種を越へ徵收管理其他取扱上に於て不便少なからず且つ歲入の確實を期する能はざるを以て度支部は明年度より金納定額に改正し籾粟及大豆の三種に限り當分代納を許す事に決定したる由

●大韓協會の密議

大韓協會の幹部連十餘名は去る二十五日東門外某寺に會合し重要問題に就き密議を凝らし同夜一泊の上翌二十六日に至り歸宅す

●李首相副總裁說

有力なる兩班の一派は民心の離反せる內閣を李完用氏が永く支ふるを欲せず東京に韓太子養育廳設置せられたるを幸び此際潔く掛冠して其副總裁たることを望ましけれどて之を勸めたるものありと日韓電通は報ず

●李軍相と恩賜金

韓皇室にては軍部廢止に隨ひ軍相李秉武に對し從來の功勞を思召され恩賜金として三萬圓下附のことに內定し居れる由なるが李氏は之を少額とし目下增額運動中なりと

●民籍調查費不足

民籍調査に要する經費不足の爲め其進捗甚だ困難にして郡衙所在地附近或は他の公用を以て出張したる場合に非れば調査に着手するを得ず隨て甚だ行悩みの姿なるが調査と人民の氣受けは概して憲兵より巡査の方宜しきが如しと

●天日製鹽と降雨

天日製鹽が降雨の爲め障碍を受くるは最も甚だしきものにて近來の如く降雨頻りに到るの時は其の收穫殆んど皆無の由なるが是に付き昨年度との比較を見るに六月中昨年は七万六千三百四十三斤を得本年は八千五百十九斤を得たりと

●春川の蠶業成績

春川蠶業傳習所にては從來韓種に依れるが今年度は農商工部より配付したる日本蠶種を試驗したる所其成蹟は頗る良好にして從來一升の價八錢なりしもの二十三四錢に賣却されたる由

●韓銀條例施行

韓國銀行條例は頒布の日より施行する旨附則を以て規定したるが是に付き某當局者の語る處といふを聞くに該條例の効力は直ちに之れを生せしむるにあらざれば韓銀に對する準備其他のことを爲すこと能はず殊に創立事務の如きは附則第四十四條に於て日本政府に委託する筈なれば旁々以て施行期日は即日に決定したるものなりと

●地方費目の條件

地方費法に依り課稅すべき稅目に就き各道の意見は既報の如く歸一し居らざるも內部にて協定したる所に依れば一、財源たる可き事二、徵收簡にして弊害なきもの三、比較的負擔の容易なるものたることを條件として先づ一、市場稅(管理人より收めしむるか面長に命ずるかは未定)二、旅閣營業稅三、渡津稅四、酒幕、飲食店稅といふ如き順序にて完備せしむる筈なりと

●貿易以外の正貨

度支部に於て豫め調査中なりし韓國に於ける國際貿易關係以外の原因に依る正貨の收支は此程調査完了し既に印刷出來したるを以て近日中に夫々配布をなす筈なるが右は昨年末配布したる第一次金融事項參考書の附錄とすべき筈なりしも統計の不完全なりしため困難を感じ遷引したるが漸く今日出來したるものなりと

●全北の農況

▲益山郡 麥作は本年は一般に發育良好なりしも結實の際旱天打繼き充分の結實を見る能はざりしを以て平年作に比し約二割の減收を來せり△水稻の挿秧は平年と大差なく生育良好なりしも連日の旱魃にて平素の用水に不足なき處まで田面乾燥して慘狀を極め居れり△當地方に多數存在する二作田は小麥刈取後更に降雨なき爲め挿秧の期を失し稻苗枯死せんとし爰三四日中に降雨なくんば全く白田に終るべき狀況なり△近來螟虫の發生多く又コガチ虫の一種多數發生して日沒後桑樹及野菜類の葉芽を喰盡し是が驅除に困難を感じ居れり(七月十八日北面方三里農場情報)

▲全州郡 麥作は播種の時期一般に後れしと生長期に降雨少かりしに反し成熟期に降雨多かりし氣候に急激の變化ありしとにより平年作に比し稍不作なりし△水稻は全州川及高山川流域にある平野の水田は例年の通り挿秧を了りしも稍高地の場所は用水不足の爲め多少挿秧の期遲れたり然れども七月十一日の大豪雨にて殆んど全部の挿秧を終り今後適當の降雨を得ば無論豐作ならんと

●慣習法調查委員

內閣法典調查局の依託に係る慣習調查委員三十名は左記の如く選ばれたり

韓錫振、南宮薰、崔岡、安炳奎、李重夏、玄榮李春世、丁明燮、李奎瑢、金敎獻(以上親族)李舜夏、李建錫、丁晶錫、魚宇濃、李鍾一、魚朋濬、洪正裕、李善九、李鎔九、洪肯燮(以上財產)洪忠鉉、太志善、姜善文、金聰鎬、白瑩洙、姜鎭奎、李穆汝、卞晶燮、金景植、金一善(以上商業)

●關釜連絡船發着日

二十八日より八月九日に至る迄の關釜連絡船發着日左の如し

二十八日午前入會下山 出港薩摩午後出
二十九日前入壹岐後入薩摩出壹岐
三十日前入對馬出薩摩後出對馬
三十一日前入會下山後入薩摩出會下山
八月一日前入壹岐出薩摩後出壹岐
二日前入對馬後入薩摩出對馬
三日前入會下山出薩摩後出會下山
四日前入壹岐後入薩摩出壹岐
五日前入對馬出薩摩後出對馬
六日前入會下山後入薩摩出會下山
七日前入壹岐出薩摩後出壹岐
八日前入對馬後入薩摩出對馬
九日前入會下山出薩摩後出會下山

●哲學大辭書

東京神田區表神保町同文館より發行せんとする大日本百科辭書中の哲學大辭書は二千五百頁九千七百餘項の大冊子にして、執筆者は當代の碩學編輯の精粗取捨の繁簡宜きを得眞に出版界の珍書ともいふべき由定價は全五冊二十三圓なり

●日本留學生歡迎會

二十四日中部慶幸坊撥湖學會に於て西北、湖南、畿湖、關東、嶠南等各學會の總務集會し夏期休暇の爲め歸國中の日本留學生を二十六日西北學會に招待して歡迎會を開く可きことを決議し二十六日同會に於て歡迎會を開きたりと

●檀君敎と奉敬會

檀君を宗とする羅寅永等の檀君敎は其宗本關係上神宮奉敬會と一致すべきものなりとして目下兩者の間に接近融和を企圖しつゝありと

●進興會社の再興

一時廢滅に瀕したる西部興義門通り進興會社は會長李圭植の苦心に依り今回宮中顧問李允用氏の出資を乞ひ愈々再興すべしと

●大韓每日社長出發

大韓每日申報社長林雖正は掛金取立の爲め二十四日平安南北道へ向け出發したり

●大韓新聞社長渡日

大韓新聞社長李人植は崇宗敎の趣旨目的を披陳し以て有力者の同意贊成を需むる爲め不日渡日すべしと

●若林總監病氣引籠

若林警視總監は豫て胃腸病に罹り居たるが主治醫の勸告に依り目下官邸にて靜養中なりといふ

●全羅北道の慘狀

全羅北道益山郡地方は挿秧の當時は生育平年と大差なかりしも連日の旱魃にて平素用水の不足なき所迄田面乾燥して慘狀を極め多數の二作田は小麥刈取後更に降雨なき爲挿秧の期を失し稻苗枯死せんとし此所三四日中に降雨なくば全く白田に終るべき狀況あり殊に近頃螟虫コガチ虫の一種發生し日沒後果樹野菜の芽葉を喰ひ盡さんとするものあり昨年も平年作に達せず麥作も結實の際旱天打續きて約二割の減收に終り加ふるに春來徵稅其他の爲め民人除財なく農家の慘狀言語に絕すべきものありといふ

●敍任辭令

內部次官	岡 喜七郎
解臨時署理大韓醫院長事務	
任平壤高等學校敎授	平山 磐夫
任大韓醫院長勅任官一等	菊池 常三郎

近事片々

▲伊公の稱氣は今更ながら今回の協約に就ても餘程天狗らしい得意滿々が仄見へる
▲近什に曰く韓山五載夢魂淸談笑三回協約成世上毀譽何足問丈夫晚節不求名云々と
▲依是觀之伊公が如何に韓國統治の功勞を其心中に誇りつゝあるかを知るに足る也
▲併し談笑三回協約成は些と頗直あり今回は知らず第二回は餘り談笑にもあるまじ
▲世上毀譽何足問も可笑しい反對論は他山の石伊公程世上の毀譽に氣を採者は稀也
▲丈夫晚節不求名も亦大疑値全く之は反對也恐らく世に伊公程名を好む人は珍らし
▲要之伊公の詩は其氣畑也されど夫れが全く心にもなき豪語を放つの僻あるを惜む
▲曾禰統監稍輕快也とは喜ぶべし統監の病氣は責任の重大を自覺せし爲と言者あり
▲豈夫斯る事は曾禰子に於てある害なし然れど此頃ヌタくられし俗論の意は抑如何
▲荷物重くて肩いたく心の底の玉の汗ぞれに引替へ九十度を超る暑さの最盛に云々
▲歌道深長なるか片々の如き門外漢には判然了解し難きも荷重く心底の玉汗は異乎
▲協約の結果裁判監獄の費用は日本の負擔たることは祖國に於ては大分反對の聲有
▲權利と費用とは素より附隨するの止むを得ざるも何とか其間に妙策なきものにや
▲今回の協約に就て守舊頑固の一派は頻に朴齋純の軟骨なるを怨み居るとは事實か
▲完用の如きは始より重を置かざるも朴齋純には稍望を屬せしに頻に罵倒し居ると
▲此等頑固連は死蛇を箱詰にして齊純の家に送り其罪を列擧したりと果して事實乎
▲韓國鐵道を南滿鐵道に合併して鐵道院の所管に移さんと是滿韓經營の爲に甚好與
▲何故に先頃改革の當時に斷行せざりしか兎角官邊の仕事には繁褥多きには閉口也
▲韓內閣此頃亦揉め居るとの事學相度相の二人は辭任すべしとの說あるが事實にや
▲協約每に多少の波瀾は免れじ然れども斷じて行へは鬼神も避くとは矢張り金言也

京電報

▲輔育府の豫算

伊藤公の

▲艦員の入院と火葬

伊勢灣に於ける朝日艦の負傷者四名は今朝橫須賀に歸着直に海軍病院に收容す生命には別條

●國民新聞の發行は休刊中なりし國民新報は一切の準備を三十一日迄に終り八月

●天氣豫報(自廿七日午後六時至廿八日午後六時)

南の風曇少雨

…輔育總裁並に御附の外韓國より勅任官一名を派遣し一ヶ年十五萬圓の豫算にて日韓兩皇室[illegible]支出する事に決定せり

…なし御死者四名は昨夜附せり（以上廿七日夕發）

…一日より發刊すべしと

相談の相談（何んでも御相談に應じ升）

◎問　私は此頃渡韓した内地の百姓ですが來月頃から朝鮮の田舎に行つて百姓を始め樣と思ひますが私は未だ妻を持ちませぬが朝鮮の田舎で生活するには日本婦人を妻に貰ふが得策ですか又は朝鮮婦人を妻にするが善いか貴社に御相談致します（南山町四丁目馬方）

◎答　乏しきに堪ゆ得る力が先天的に強いから朝鮮婦人の方が百姓の妻には適當なるべし、貴君が日用普通の會話に差支へなしとせば萬事不都合なかるべしと信ず（係）

◎問　韓人飜譯官補試驗は有之由新聞に有之候所日本人飜譯官試驗は何れにか無之候哉實は韓語通譯の入用の向有之候へば諸官衙又は會社にても宜敷候間御回答煩度候（龍山生）

◎答　日本人飜譯官試驗は差し當りなし韓語通譯入用の所は有るべけれど本欄に於て御周旋致し兼ねる、住所姓名を明記して本社無料紹介欄の係りに當て依頼し越さるべし、但し姓名は公表せざることを得（係）

◎御尋生　君よ、婦人の仕事としては仕立物、洗濯等が上等です、此れが思はしくないと云つて他には仕方がない、製糸に經驗があると云はれるか、れ入用は御座いませんかと尋ねて歩行く譯けにも行かぬ此れは何うしても姓名を本社に知らして無料紹介欄で紹介して見るより外に手段が無いと思ふ、西ヶ原へ云々は駄目ですよ、加奈須さんが居るか居ないかは僕には判りませんよ、何程新聞社でも何んと云ふ人は何所に居ると一々記帳しては無いです、仁川宮町二丁目なる仁川警察へ問合はせた方が捷徑です右れ答へします（係）

●鳳山國有林の大盗伐　▲資金を京城に仰ぎて

江原道麟蹄郡鳳山の大國有林を盛んに盗伐するものあるより春川警察署にては取調べの結果韓人材木商十六名を捕縛したるが元來韓國にては薪を築けば其周圍の材木を伐り拂ふも差支なき習慣なりしを以て彼等は其爲め伐木したるなりと申立て居る由なるも其實京城の淸水材木店より二萬余圓の資金を借り受け山林より河邊迄一里半の道路を開鑿し牛車を作りて運搬し既に河邊に輸來せしもの三萬幾千本に上り尚ほ益々盗伐を盛んにして奇利を博せんとしたるものなること明かなりと云ふ

●仲好く飲て撲る

仁川韓國興業株式會社支店員松田秀次（二十）本田稔、越知俊夫の三名は一昨夕打揃ふて彌生に登樓し鱈腹飲酒し午後十一時過ぎ同樓を引き揚げ海岸通りを歸る途中本田と越知とは平素仲惡しき松田と喧嘩を始め果ては格鬪に及びたるが二人に一人松田は遂に力足らずして本田越知兩名の爲めに散々毆打せられたるのみか漸と拵へた中形の浴衣は引き裂かれ加之に足部に負傷され受けたるが尙も兩人は松田に對し侮辱を加ゑんとしたれば松田は一旦其の場を逃げ出し歸宅し護身の爲めに二尺八寸の大刀を持出し仁川署に前記の始末を逐一訴ね出でたるが元々同社員の爭ひなれば當番巡査は支配人淺井佐一郎を召喚し引き渡したりと

●怪しの縊死者

去る二十五日午後一時頃京畿道楊州郡忘憂里面上里貴村洞松林に於て日本人一名縊死し居るを郵便護送として麻石隅里へ出張せし三吉憲兵上等兵の通報に依り警視廳より加茂警部醫師及び巡査四名と共に現場に出張檢視を遂げたるが縊死者は年齢二十五六年位の男にして身長五尺二寸顔小にして長く色黒く齒揃ひたる下方に高齒あり着衣は木綿竪縞千筋の單衣に白木綿の網シャツを着し居たるが他殺の疑ひはなきも斯く邦人の居留地を離れて死を遂げたるは仔細ありげなるも檢視官の鑑定にては貧困の爲めならんと云ふ

●持逃げの露顯

仁川花町三丁目中央藥舘の藥賣岡本勇二郎（三三）と云ふは二三ヶ月前京町二丁目宮島下宿屋にて宮本辰次郎と僞稱して下宿し居たること發覺し尙其の擧動頗る怪しき點あるより過日仁川署に引致十日の拘留に處し取調べたる所右勇二郎は本年四月頃平壤壽町照燈社に雇はれ居る中主人今木惠一郎の衣類五六十圓のものを盜み出し仁川に高飛びし來りたること判明したるが尙餘罪ある見込にて目下取調中

●細くない小僧

仁川花町一丁目魚商山中元助方にて二三日前雇入れたる長崎縣生れの田川政吉（十七）と云ふは昨年九月末渡韓し龍山桃山に居住する安達常太郎方に身を落ち付け店の手傳をなし居たるが數日前店の懸金五圓を拐帶し仁川に下り前記山中方に雇はれたること判明したれば一昨夜花町派出所巡査は懇々説諭を加ゑ終列車にて歸龍せしめたりと

●酌婦の逃損じ

仁川猫島淀川樓の酌婦梅吉こと大阪生れの大磯うめ（二十）と云ふは一昨晩ドロンを極め込み同地花町三丁目戸田常吉方に潜伏し居たる所を一昨夜に至り仁川署員に發見せられ直に樓主に引き渡されたりと

●素人大相撲

旭町民團役所裏手廣場に於て廿六日以來素人相撲興行中なるが京仁龍の各地より多數の力士參集し非常なる盛會を極め居れり而して本日は其最終日に相當するを以て力士も一層多數出揃ふべしと云ふ

●配達出拂　午後七時三十分

廿六日（華氏）　最高溫度　八六、七　最低溫度　七六、三

●どんぱの丸髷姿

井門本店の蜻蛉姐さんと云ば去る三十九年六月以來の古顔で別嬪で無い處に一種の愛嬌があつて隨分持てた方なりしが愈々一昨廿六日限り廢業して丸髷姿となりそんじよそこらに詫び住居とはれうら山吹

●車夫の科料處分

本町四丁目車夫森伊之助（十九）同中道奥太郎（二十）は兩人は喰醉つた揚句警官の制止をも聞かず大和町二丁目の街路を放歌高聲を發しつゝ通行せし爲め兩人共三十錢の科料

●自轉車乗りの科料

本町二丁目十一番戸呉服商磯田太郎（二十）は去る二十三日午後十時半本町二丁目にて無燈火にて自轉車に乗り通行せしを警官の發見する處となり告發されしが昨日南部署にて五十錢の科料

●裸体になつて科料

本町五丁目岡砂九一（二十）は去る二十六日午前一時過酩酊の上裸体となり南大門通の街路を徘徊したる爲め二十錢の科料に處せらる



先般中檢の藝妓芝居に菅四の玄蕃其他立役の出の立派なみに扮し押し爲め好評なりし花月の富子

●木杯寄贈

左の諸氏は小學校及び行旅病者收容者中へ金員を寄附したるにつき當局より各々木杯を寄贈されたり
兵庫縣平民頭本元貞、大阪府平民觀負淺次郎、島根縣平民鹽澤千代、長崎縣平民町田文次郎、大分縣平民薫守太郎

●大般若の祈禱

大和町七丁目横花園町曹洞宗日韓寺に於ては今回檀信徒の寄附にて大般若經六百卷を新調せしを以て今廿七日午前十一時及び明二十八日午後一時より大般若祈禱を執行する筈なりと

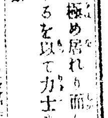
●長谷川町の夜店

長谷川町一丁目現大久保軍司令官々邸芝生堤に沿ゐる片側街路を使用の許可を得來る八月一日より盆栽花卉を主とせる露店を連夜開張する由なるが主唱者は長谷川町有志に依りて成る同町繁榮會なりと云ふ由來同所は何人も知れる如く淸潔なる屈折なき大道路にして今日此頃の蒸熱き夜も涼風歇む間もなく吹き通す所なれば晩餐後家族携帶の散策に最も適當なり

●支店開設紀念の割引

上野國桐生町大和屋呉服店に於ては東京支店開設紀念の祝意を表しウズラ縮緬春日縮緬敷島縮緬の各種兵兒帶を從來の正價より三千本限り一割引にて發賣し猶はがきにて注文せば引換小包にて送品する由なれば需用者は直接大和屋東京支店宛申込めば最も便利なるべし

演藝



▲歌舞伎座　彰義隊一座第八回目の替りは「雪中の竹」全八場と喜劇「文福」二幕にして役割左の如し
愛妾國子（西井）熊五郎女房、竹子姫（桂木）牛島雪夫（河野）熊五郎（角村）車夫金太（玉川）百姓杢平（中村）家扶石本（大和）車夫傳吉（間宮）家令黒田（松村）家扶近松（小計）乳母れ琴（小神）村民甚三（天草）上田五郎（受澤）村民芳三（三島）牛島直政（美崎）中野殘雪（篠崎）

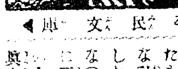
▲三友美團　京城座の稲葉、青山、橋本、田宮一座の中村、吉井其他金澤、阪本の名々三友美團なる一座を組織し近々京釜沿線の太田に乘込む由出し狂言は月暁、母の心等な

▲水樂亭　諸藝大寄せは今回東京の講釋師寶井琴凌が眞打として加はりし爲め一層人氣を高め居れり

●歌舞伎座のハムレット

旭町歌舞伎座に立籠り夏枯れの今日此頃を事ともせず熱心に車輪を以て人氣を呼びつゝある新派彰義隊は一昨夜及び昨夜の兩日は彼の沙翁の傑作たるハムレットを上場した多大の喝采を博したのである、元來同劇は悲劇中の悲劇にして臺辭頗る高尙吾人の見て以て些の批難すべき余地なき丈けそれだけ演者に取つては頗る六ケ敷く大抵の俳優は之れを演じて失敗に終るが常である、殊に彰義隊一行は大に自信する處ありと見へ特に當夜に限り具眼者とも言つへき重なる好劇家數百名を招待した位であつたが先づ自分の見た處では成効の方だと思ふ、先づ第一其建の立派な事は恐らく韓國では初めてゞあらふ尤も今回は滿洲に在りし茅野、伊崎等の腕利を聘したからでもある、演劇の大体に就て云へば無難に演つて除けたと云ふより外はない不適當の役割もあつた（例へば小神の令嬌の如き）がそれかと云つて大した穴もなければ飛抜けて良い處もない其證據には觀客の頭に何等の印象を遺さない（是れは自分を標準として）敢て成効と云ふのは即ち無難の點である大抵の俳優であつたら滅茶々々にする處だ、個人に就ての批評とすれば一長一失大分目に止まつた事もあつたが紙面に餘白無ければ日を替へて改めて各優個人の技倆を紹介する事としよう（もの字）

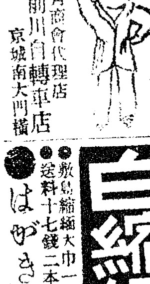
平民文庫



▲一盞一錢なんて云ふアイスクリームは馬齡薯の摺り潰したものに色を着けたものだ相な私は今日初めて聞いて吃驚した（正直者）▲迂濶千萬ですな（小僧）▲長谷川町の大通に豆の樣な狆を飼つて居る家の夫婦は不都合だアノ往來の眞中で其狆と他の犬を交尾さして居た時は廿四日午前八時四十分頃の事だ大白晝が自から路上には場所も時もあつたことではないが人間が付いての時は當然人目に觸るゝことの少ない場所を選むべきだ（土百姓）▲山の出町の總出のれかみさん二階の鏡さんと餘り巫山けると旦那に知れますよ（岡燒生）▲太平町の素人角力で若衆が饅頭を下れと云つて勸誘に來る重立つた若衆の知つた事では無からうが發起人連で取り締つて下さい（近所の亭主）▲明治町の武力屋さん僕の云ふことを聞いて下さつて有難う何れ近日拜眉に出掛ける、先の不審生今の（和加津太生）▲武力屋の時計は成程動いて居る確かに見た併し時計は以前の時計でない大急ぎで買つたのさ思はれる以前の時計に器械の有る筈がないのだ（能知生）▲丸京では南山满の主人大舘某から三十圓五十圓と融通して貰ふのだと云ふことです（御注進生）▲一臣民子の御説に同感に堪ねないのである昨日宮樣御出立奉送の官公吏は兎も角一般人士の奉送者の少なき統監の時に比し如何である殊に堂々たる○○に於て國旗の掲出を注意せらるゝ如き實に憤慨の至りだ（一武士）▲私が廿五日の夜本町一丁目裏を通つたとき浪花亭とか云ふ家の酌婦に巫山戯て居る若い男がある見ると其男は私の宅へ或人の紹介で勤務することになつた男なのです漸く饑餓を脱すれば直に之れだ朝鮮に居る若い者は皆此れです、五十圓とは纒まつた金を持たせられない（一商店主）▲京城日報の一口噺（廿五日の紙上）は明治二十三年頃の我樂多双誌かに出て居た奴だ記者さんが知らん振りをして若いものに恥をかゝせるでもないと我慢して掲せられるのなよい事にして投ずる奴の面が見たい（痛頭子）▲寶井琴凌が來て居ると云ふのは眞實なりや而して朝鮮の琴凌には非ずや（疑問生）▲否、大連にて失敗の餘渡韓したる者なりとか然れば何卒御引立を（小僧）

●社告

京城市内で音樂其他遊藝等の教授を爲す人は至急其住所を御一報あれ相當紹介の勞を執るべし
京城新報社





●眼病薬の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

▲無料紹介欄▼

人事部

●中等教育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし　氏名在社（三〇一）
●年卅五多年電氣工務（又簿記精通）の經驗有り市内保證人有り相當處に雇はれたし　氏名在社（三〇二）
●被雇度　簿記に精通の中等教育ある二十才の青年會社銀行店舗等に被雇度給料不望保證人あり　氏名在社（三〇四）
●小僧入用　十四歳以上十七歳以下のもの一名至急入用委細面談大漢門前遠藤洋服店
●下女入用　十六七歳より廿三四歳迄のもの數名入用　南大門通　紅葉
●行商人募集　石油行商人二十五歳以下身體强壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談　龍山元町三日韓組（三〇七）
●英文代書　通譯飜譯　本町一の七五中村
●商品販賣員募集　午前十時前希望者本人來談おれ　本町一、三巴酒店裏武田質店（四一〇）

物件部

●夏向露店　旭町一民團役所燒跡附近にて夏向恰好の露店二箇所あり希望者は至急申込あれ　氏名在社（二九五）
●電話格安賣物あり　氏名在社（二九六）
●電話讓渡　格安又は月賦讓渡の相談に應ず　氏名在社（三〇〇）
●蓮（?）繩機械廿臺〇縄綯機械〇藁打機械一ア安價に賣却す大和町二の二一九　渡邊方山本
●中古寫眞器一揃一個格安に賣却したし　氏名在社（三〇六）
●地所賣却　第一銀行建築場に接近せる大通目貫の場所に有望なる地所家屋賣物あり　本町一の七五　中村
●醫士開業向貸家あり　本町三丁目　贊化堂藥局（四一一）
●賣却　理料店向長谷川町二の一九目貫の場所家賃十五圓道具一切格安讓渡たし如何なる相談にも應ず長谷川町二の一九二井田

廣告

梅毒皮膚生殖器專門治療●診察無料

梅毒りん病

かんそ●よこね●陰莖皮かむり手術

生殖器病

神經衰弱

記憶力減弱　陰萎遺精夢　精早漏陰萎　發育不充分

皮膚病いんきん●たむし●ひぜん等

わきが●ぢ

東京淺草元町廿八淺草橋通電車停留場横

中央醫院

●遠地患者は病狀を記し郵便切手六錢を送れば療養書を送り尚ほ藥劑部より發行の專門新藥說明書を送る

内科 外科 小兒病 梅毒淋病

入院隨意

高井醫院

京城壽町三丁目　電話（二一六）

院長　陸軍軍醫正　高井貞治

卸　小賣



京城本町一丁目

富士の里茶舖

電話九七九番

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す牧場主に此に留意し好良の食料を給す

●牧場搾取の牛乳を愛飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし

京城本町五丁目（電話四七番）

販賣元 仁川 松尾支店

京城東四軒町

搾取所 松尾牧場

明治廿年七月創立

東京火災運送保險株式會社

資本金一千萬圓

京城代辨店　本町四丁目　吳服店　電話九番

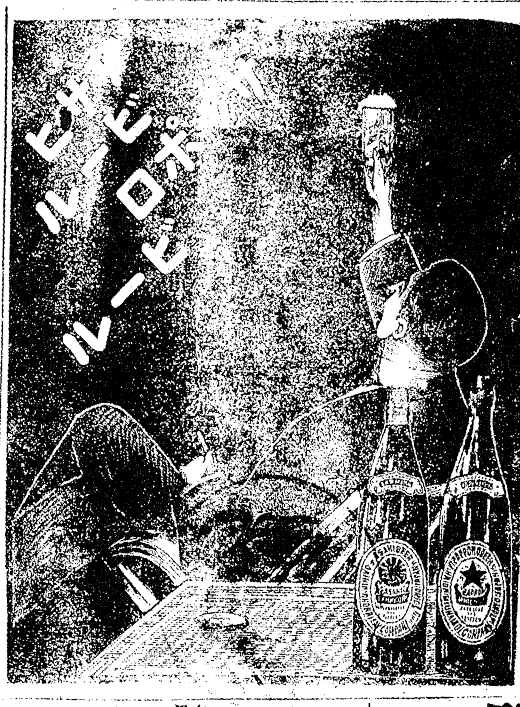
事務所　京城本町一の三　電話一〇六番

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

京城旭町一丁目六十七番戸

辯護士　岡田榮

（電話三九八番）



營業科目

活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　コロタイプ版　寫眞版　書籍　製本裝釘

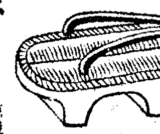
今般日韓圖書印刷株式會社ヲ日韓印刷株式會社ト改稱致シ左記ノ處ニ新ニ設ケ從來ノ通り倍舊ノ御愛顧之程奉願上候也

日韓印刷株式會社

本社　京城明治町三丁目　電話（三二三番）

東京出張所　東京京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

東京



正札付　大安賣

厘も引なし

安心して買へ升

京城大和町一丁目の出擱横

藤井出張店

本店東京

仁川港

銘　釀造元　大森酒場



酒

韓國一手發賣元

NA

永島商行

京城旭町の出町一丁目（電話架設中）

眼科專門

京城本町一丁目憲兵分遣所前

江頭眼科醫院

（電話三三）

前漢城病院眼科部長　醫學得業士

江頭富雄

一訴訟鑑定願屆申請書類調製
一契約書案作成
一登記登錄證明願手續
一外國旅行劵出願代辨
一官有地貸下出願代辨
一諸工事殖林等設計
一土地建物鑛山測量製圖
一田畑宅地鑛山賣買貸借仲介
一電話店舖讓渡仲介

右諸件は堅く秘密を守り誠實に取扱ひ最も迅速に解決可仕候

京城本町一丁目理事廳前通

衛藤事務所

梅毒專門

皮膚病　一般

痔　注射療法（不要入院）

京城南大門外市場櫻家旅館內

神戸養生院長

出張診察所

電話三百十二番

院長　府立大坂病院專攻　元兵庫縣立福原驛梅病院醫長　醫學得業士　藤田耕平

○資力乏しき病者には割引又は施療を爲す

南門湯横に病院新築中に付き本月末移轉開院す

待合

四

移轉に付き

メチヤ〳〵大安賣

廿四日より當分の內壹足に付定價の

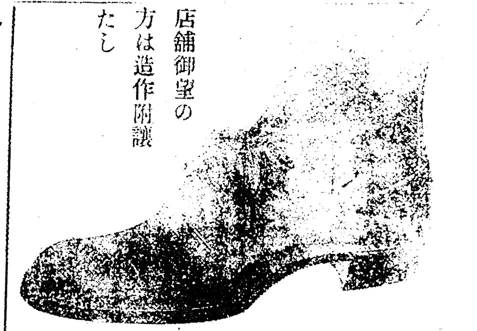
一圓引

御賣は特に御相談可申上候

店舖御望の方は造作附讓りたし

京城本町六丁目

富田第一支店



牛馬　犬豚

治療所

（入院隨意）

京城明治町三丁目（電話四三七番）

小川家畜病院

獸醫　小川鶴太郎

支店開設披露

今回左記の所へ支店開設致し候に付開業披露として左の如く割引販賣仕候條御愛顧願上候

自六月十五日　至八月十四日　六十日間

金銀懷中時計各種　一割五分引

掛置時計各種

附屬品一切

外に貴金屬附屬品に限り五分引

時計自轉車小賣部

京城本町二丁目

喜多金光堂支店

（電話架設中）

時計自轉車卸部

仁川本町三丁目

喜多金光堂本店

（電話七百五番）

元祖

消毒　殺菌

牛乳・平山牧場

京城大和町壹丁目

電話一三三

自製　特約販賣

大上商店

漬物　味噌　醬油　製造元

和洋酒、精酎、穀物、麵類、罐詰、乾物、荒物、食料雜貨、ビール、米粉、罐茶、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

京城本町五丁目（電話一五一番）

待合

春日

馬車配達

●●●滋養と牛乳●●●

純良

牛乳

京城東四軒町

岡野牧場

電話壹〇六九番

●●●衛生と消毒●●●

▲清潔の下宿▼

客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候

壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）

かめ屋

▲懇切の下宿▼

消毒　純良　特定御用

牛乳　荒井牧場

電話一〇五六

日本郵船株式會社

汽船出帆廣告

仁川

貨物及船客取扱店

郡回漕店

仁川海岸通　電話三十番

●釜山出帆時間神戸行

山東丸　八月　一日午後三時

●大連、太沽、牛莊行

高砂丸　八月　五日正午

●大連、太沽、牛莊行

山東丸　八月　十七日午前四時

●大連、太沽、牛莊行

酒田丸　八月　廿六日正午

●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行

立神丸　七月二十八日午後

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送り可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金五十錢▲三ヶ月前金

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回五十錢▲特別五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人　秋山忠三郎

印刷人　高木久馬太

京城西署南部小門洞

發行所　京城新報社

電話六六三番